

エントリー学校名： 岐阜県 岐阜市立加納中学校

活動名： 協同学習の活性化 —「考えるための技法」の活用

解決すべき課題：
 本校では、平成30年度から、協同学習を実施している。協同学習を行う目的は、以下の2点である。
 ・自分の考えを広げたり深めたりするため。
 ・仲間と協力して、学びをつなぎ、深く学ぶ中で、資質・能力を育成するため。
 その協同学習にかかわり、本校研究推進委員会における独自の調査を行った。全18の質問項目から2つを抜粋した。その結果【表1】から、以下のことが分かった。
 ◆1の項目より：「道筋立てて考えをもつこと」に対して、否定的な回答をした生徒が24%いる。
 ◆2の項目より：「見通しをもった協同学習をすること」に対して、否定的な回答をした生徒が20%いる。
 また、この結果に加え、中間層の停滞や失敗をおそれる生徒の存在もある。そのため、「考えるための技法」の活用により、協同学習を活性化させ、資質・能力を身に付けられるようにする必要がある。

目標・方針：「協同学習」と「考えるための技法」は、相性がよいと捉えている。そのため、「考えるための技法」を協同学習にて活用する。「中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編 (p.81)」に例示されている10の「考えるための技法」を全ての教科等で活用する。理科においては、「小学校学習指導要領解説理科編 (p.13)」 「中学校学習指導要領解説理科編 (p.11)」を参考にして、「関係付ける」「条件を制御する」という「考えるための技法」も活用する【図1】。

活動内容：「考えるための技法」の活用を、教師が生徒に投げかける【図2】。例えば、協同学習の前に、「～と～を関連付けて考えてごらん」と教師が生徒に投げかける。そのため、生徒が「どのように考えると課題解決できるのか」という見通しをもつことができるようになって考えた。将来的には、生徒が自ら活用できることを目指す。例えば、「関係付ける」という「考えるための技法」は、右の表のように各教科等で活用した【図3】。

活動の成果：
 ・「考えるための技法」により、失敗懸念が減り、中間層の学習意欲が向上したと感じる。そして、協同学習が活性化されたと感じる【図4】。
 ・各教科で「考えるための技法」の活用を意識的に活用した結果、生徒会活動においても、生徒が「考えるための技法」を活用できるようになった。本校では、来年度のジャージの変更を目指し、改定の手続きを進めている。そして、生徒自身がジャージを選定するコンペに参加をした。その過程において、「考えるための技法」を活用した。【図5】

アピールポイント (アイデアや工夫)：
 ・これまでの授業実践を「考えるための技法」で整理・分析した。同じ「関係付ける」という「考えるための技法」についても、例えば、国語科の場合、「言葉と言葉を『関係付けて』読み取る」ということから、「書き手の主張と自分の生活、社会生活を『関係付けて』考える」など、実際の授業実践とつないで、数多くの事例をつくった。
 ・「考えるための技法」を、学校生活における日常的な教育活動、生徒会活動、学級における係活動でも活用できるようにした。例えば、生徒会学習部が11月の学習目標を「考えを深める技を磨こう」と掲げた、全校に考え方のコツを提案した。【写真1】【写真2】

○失敗懸念の軽減
 ・考えの道筋が分かる ⇒ 主体性な学習
○中間層の学習意欲の向上
 ・「考える」ことの具体化 ⇒ 思考の支援




図4

考えるための技法を活用
 ○業者によるコンペにおいて、視点を基に各企業が提案するジャージを比較し、選択
 ○自身の生活体験と関連付けて希望するジャージを選択





図5

教師が生徒に「考え方」を提示する



生徒は課題解決の見通しをもつことができる

図2

「関係付ける」の活用例

【国語】
 ○「心情」と「情景」「行動」「会話文」等の情報を関連付けて捉える

【社会】
 ○中部地方で自動車産業が発達した理由と「自然環境」「産業」「交通」等を関連付けて捉える

【家庭科】
 ○よりよい商品の選択の仕方について、「品質」「価格」「アフターサービス」「環境」等を視点にして自分の生活経験と関連付けて考える

図3

本校で活用する12の考えるための技法

写真2

○順序付ける ○比較する ○分類する ○関連付ける
 ○多面的に見る・多角的に見る ○理由付ける ○見通す
 ○具体化する ○抽象化する ○構造化する ○関係付ける ○条件を制御する

〔中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編 (p.81)〕
 〔小学校学習指導要領解説理科編 (p.13)〕 〔中学校学習指導要領解説理科編 (p.11)〕

写真1

【11月の全校学習目標】
 考えを深める「技」を磨こう

質問項目	1	2	3	4	5	6
1. きちんと道筋を立てて考えることができる。	2%	4%	18%	37%	28%	11%
2. 授業の協同学習で、「どのように考えれば、課題解決できるか」見通しをもって話し合っている。	1%	3%	16%	35%	31%	13%

1：まったくあてはまらない 2：あてはまらない 3：どちらかというあてはまらない 4：どちらかというあてはまる 5：あてはまる 6：とてもよくあてはまる

表1：本校研究推進委員会における調査結果(令和2年9月実施)